

令和 6（2024）年度 事業報告書

令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日

1. おもな活動概要と成果

戦争遺跡や様々な歴史文化遺産、豊かな自然環境などを「館山まると博物館」と位置づけ、調査・保全・活用を通じて「平和の文化」を学び、育む教育支援やエコミュージアムまちづくりを推進した。

ガイド事業においては、前年夏の赤山地下壕内壁崩落事故の補修工事に伴う休壕のため実績は減少したが、大房岬要塞群のガイドを中心に実施した。次年度からの見学再開に向け、ガイド講座を実施。

講演は、沖縄県南風原市の壕シンポジウム、愛知県豊川市の豊川海軍工廠を保存する会の総会において「館山まると博物館」を紹介した。

NPO 会員が持ち回りで講師となる「知恵袋講座」などを開催し、学習と会員の親睦交流を図った。

書籍事業は、地域を紹介するガイドブックやパンフレット、各種調査報告書等を編集・発行し、地域内の書店やオンラインショップを通じて広く頒布した。テキスト「館山まると博物館」はスタディツアーガイドの座学用教材として使用している。

館山市文化財保存活用地域計画作成協議会の委員を委嘱され、副会長を務めた。

千葉県教育委員会・県立安房高等学校の委託による旧安房南高等学校木造校舎（県指定文化財）の公開事業中止に伴い、同校舎のよりよい保存・活用と国指定文化財への格上げを求め、「安房高等女学校木造校舎を愛する会」とともに署名運動を展開し、千葉県知事・同教育長への要望書を提出した。

1624 年建立ハングル「四面石塔」（県指定文化財）の調査研究を深め、建立 400 年記念シンポジウム＆コンサートを開催し、調査報告書を発行した。開催にあたり韓国大使館・韓国国外所在文化遺産財団はじめ韓国系団体の後援を得て連携を図った。

館山市森づくり大使の高田宏臣氏が有機土木を提唱実践する「安房大神宮の森コモンプロジェクト」に賛同し、協働事業として「第 1 回安房大神宮の森風土歴史フォーラム」を共催した。

第 30 回安房地域母親大会の主催構成団体として、「安房大神宮の森コモンプロジェクト」代表の高田宏臣氏と哲学者の永井玲衣氏の講演会を開催した。

歴史教育者協議会、戦争遺跡保存ネットワーク等との連携により地域史の調査研究を深めた。

国際協力においては、私立安房西高等学校 JRC（青少年赤十字）部や安房・平和のための美術展、フェアトレードのウガンダコーヒー流通などの市民活動と連携を図りながら、ウガンダ意識向上協会（CUFI）の支援交流をすすめた。

年金者組合安房支部、千葉県歴史教育者協議会、里見氏研究会などの諸団体と連携を図り、多様な活動を進めた。2 本の映画『世界一の夕陽と生きる～移住の郷から』（金高謙二監督）、『医の倫理と戦争』（山本草介監督）の制作に協力した。

2. 事業の実施について

(1) 文化財や戦争遺跡を活用したガイド事業

① スタディツアーガイド 10 名以上を対象に、座学・テキスト付（有償・要予約）

2024	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
人数	64	48	10	22	33	34	55	161	99	0	101	40	667
団体	3	5	1	3	5	1	2	5	3	0	2	2	32

② ガイド講座 3/30 21 名

③ 知恵袋講座

- 〈81〉 4/14 上田明夫「地震隆起が作った館山」
- 〈82〉 5/25 関和美「安房地域の図書館史と文化振興に寄与した医師たち」
- 〈83〉 6/23 鈴木よし江「房総里見氏の歴史と紙芝居『南総里見八犬伝』」
- 〈84〉 8/17 古畑玲子「私も原爆被ばく者」
- 〈85〉 9/29 鈴木政和「千倉とアワビとハリウッド」
- 〈86〉 11/30 小沢義宣「少年時代の戦争体験」
- 〈87〉 2/22 片方義明「元房日社長の半生記」

(2) 書籍等の発行事業

- ・テキスト冊子、オンラインパンフレット（日英韓）「館山まると博物館」等
- ・あわがいどシリーズ「戦争遺跡」「房総里見氏」、調査報告「ヘリテージまちづくりのあゆみ」
- ・「ハングル『四面石塔』400年記念」（新規）
- ・「第30回安房地域母親大会記念誌」（新規）
- ・「タカラガイ図鑑」「おらがごっつお」、イラストマップ、絵はがき等
- ・年金者組合安房支部文集「なの花」編集（委託）

(3) その他の非営利事業 「館山まると博物館」まちづくり活動

① ハングル「四面石塔」400年記念事業

- ・調査研究、報告書（冊子）作成
- ・11/9 見学会・奉納コンサート：李政美 @大巖院 90名
シンポジウム「四面石塔の謎をさぐる」@南総文化ホール小ホール 140名
 - ・早川正司（房総石造文化財研究会会長・千葉県文化財保護協会理事長）
 - ・石川達也（大巖院副住職）
 - ・滝川恒昭（敬愛大学特任教授・里見氏研究会代表）
 - ・永渕明子（韓国語講師・翻訳者・袖ヶ浦出身・韓国在住）
 - ・愛沢伸雄（NPO法人安房文化遺産フォーラム共同代）
 - ・池田恵美子（NPO法人安房文化遺産フォーラム共同代表）

主催：NPO法人安房文化遺産フォーラム 共催：大巖院

- ・NPO設立20周年交流会実施 @南総文化ホール大会議室 60名

② 旧安房南高校 木造校舎（県指定文化財）の保存活用

- ・安房高等女学校木造校舎を愛する会：事務局付託、運営
- ・草刈り 7/20・10/5・3/29
- ・会報 No.9（7/7）発行
- ・8/19 文化財めぐり 安房高校無弦館（県登録）～ 小原家住宅（国登録）～ 小高記念館（国登録）
～ 小谷家住宅・青木繁「海の幸」記念館（市指定）～ 布良崎神社
- ・5/28 千葉県文化財課 6/24 安房高校 との打合せ
- ・適切な修復管理による保存・活用と国指定文化財格上げの署名運動
⇒ 県へ要望書の提出 3/6 合計 3,156 筆（署名用紙 1,665 + オンライン署名 1,491）

③ 安房大神宮の森コモンプロジェクト（協働）

環境土木専門家の高田宏臣氏の提唱により、安房神社周辺域の森を整備して、古道や水源等

を再生し、共有財産（コモン）として未来に継承する壮大な取り組み。縄文大工の雨宮国広棟梁の指導による縄文小屋づくりなど。

- ・ 4/29 第1回安房大神宮の森 風土歴史フォーラム @千葉県野鳥の森 55 名

④ 第30回安房地域母親大会（実行委員会・構成団体） 池田恵美子：実行委員長

構成団体：国連 NGO 新日本婦人の会館山支部/鴨川支部/鋸南やまゆり班、安房地域女性連絡会
全日本年金者組合安房支部、NPO 法人安房文化遺産フォーラム

- ・ 2/8 講演&対話集会・展示 @館山市コミュニティセンター 200 名

講師：高田宏臣氏（館山市森づくり大使、NPO 法人地球守 顧問、環境土木専門家）
永井玲衣氏（哲学者・哲学対話ファシリテーター）

⑤ ウガンダ支援交流（支援先：CUFI ウガンダ意識向上協会）

- ・ ウガンダコーヒー流通（通年）：館山焙煎工房カフェポラリス
- ・ 安房西高校文化祭 JRC 部がウガンダ喫茶
- ・ 安房平和のための美術展
- ・ NPO 法人 Global Bridge Network 連携

少女の「生理の貧困」に伴う課題解決（布ナプキン制作指導・ジェンダー教育等）

⑥ 渡米アワビ漁師移民の調査研究 房総アワビ移民研究所と共同研究

⑦ 市民活動団体との協働

* 年金者組合安房支部

7/18 歩こう会（四面石塔・小原家住宅）

8/4 流しソーメンの会 @小原家住宅

* 女性自立支援施設「かにた婦人の村」（バザー・草・建替募金等）

* 千葉県歴史教育者協議会

8/3～4 歴史教育者協議会東京大会：平和教育分科会／地域に学ぶ集い（池田恵美子）

1/18～19 千葉県研究集会（東葛高校）：平和分科会（池田恵美子）／地域分科会（関和美）

* 戦争遺跡保存全国ネットワーク

『決定版 日本の戦争遺跡』（仮題）の執筆・編集（2025 年夏発行予定）

5/19 豊川海軍工廠保存をすすめる会 総会：講演（池田恵美子）

7/14 沖縄県南風原町・壕シンポジウム：事例報告（池田恵美子）

* 里見氏研究会（滝川恒昭会長・顧問 8 人に愛沢伸雄）

冊子第 4 号「来年は稲村城跡保存運動 30 年」愛沢寄稿

⑧ 情報発信

- ・ NPO フォーラムだより（会員向け会報） No.110～115
- ・ 公式ホームページ、YouTube、Facebook、X（旧 Twitter）、Instagram など
- ・ エコレポ「館山まると博物館」オンライン連載

⑨ 映画製作協力

- ・ 金高謙二監督『世界一の夕陽と生きる～移住の郷から』
- ・ 山本草介監督『医の倫理と戦争』（企画：伊藤真美医師）